

- ◆日時 3月7日(日) 午前9時～午後3時
- ◆集合場所 ハサンベツ里山センター
- ◆対象 小学4年生以上 ※小学3年生以下は保護者同伴です。
- ◆参加料 1500円(保険料込み)
- ◆定員 20人
- ◆持ち物 昼食、水筒、雪遊びのできる服装、替えの手袋、着替え
- ◆申込期限 3月4日(木)
- ◆【申込先・問い合わせ】 NPO法人雨煙別学校 ☎1696



イグルーづくり

ふるさと自然教育通信 VOL.43



オオムラサキ館 3月の見らいん

オオムラサキ館では昨年の12月よりサケの卵を飼育しています。今では、稚魚になったサケたちの元気に泳ぐ姿が観察できます。また、3月20日まで毎週土曜日に行っている野鳥観察会に合わせて、渡り鳥展示を開催しています。ハクチョウやマガンなど身近な渡り鳥について学べる内容になっています。オジロワシの実物大パネルは迫力満点です。

オオムラサキ館 ☎3000



～つながり広げて、子育てできる地域社会を～ 『家庭教育講演会』を開催します



栗山町生涯学習情報

マナビイ

栗山町教育委員会 総合福祉センター「しゃるる」 TEL72-1117 FAX72-6522

- 「子ども一人を育てるには村中の人が必要」。日本を含め世界中どの国にも同じような言い伝えがあります。本講演では、みんなで地域の子育てを行うための取り組みなどをお話します。
- ◆日時 3月12日(金) 午後6時半～8時
- ◆場所 総合福祉センター「しゃるる」
- ◆対象 町民
- ◆受講料 無料
- ◆定員 40人(先着順)
- ◆演題 子育て支援は人が育つ地域づくり～わが子・よその子、みんなの子～
- ◆講師 栗山町子ども・子育て会議アドバイザー 河野 和枝さん
- ◆申込期限 3月9日(火)
- ◆【申込先・問い合わせ】 町教育委員会社会教育課 ☎1117
- 町子育て支援センター「スキップ」 ☎1280
- ※当日は、会場2階の発達サポートセンターで託児を行います。希望される方は申込時にお伝えください。
- ※参加の際は、マスクの着用をお願いいたします。

開拓記念館特別展 版画にみるふるさとの暮らし

「牛田克彦」版画作品展

元栗山小学校教頭の牛田克彦さんが昭和20～30年代の暮らしを描いた版画作品を展示します。今回は「ふるさとの春」をテーマに開催します。



- ◆日時 3月9日(火)～21日(日) 午前10時～午後4時 ※月曜日は休館となります。
- ◆場所 町開拓記念館
- ◆入館料 高校生・一般100円 小・中学生50円 (町内の小・中学生は無料)
- ◆【問い合わせ】 町教育委員会社会教育課 ☎1117

松原記念奨学金基金 奨学生募集

経済的な理由により、就学が困難な方に対して奨学金を給付します。

- ◆対象 町民もしくは栗山高等学校卒業生で、高等専門学校、4・5年生および大学、大学院、専修学校に在学ならびに入学予定者
- ◆奨学金 月額3万円(年額36万円) 年4回支給(返還の必要なし)
- ◆選考方法 基金運営委員会(選考のうえ、本人に通知(6月上旬))
- ◆応募手続き 次の書類を在学する学校長の推薦を経て、町教育委員会に提出
- ①奨学生願書
- ②奨学生推薦書
- ③学業成績証明書の写し
- ④世帯の収入の分かる物 (源泉徴収票など)

- ◆申込期限 4月23日(金)
- ◆その他 奨学生は4回目の支給後、近況報告・学業報告が必要
- ◆【申込先・問い合わせ】 町教育委員会学校教育課 ☎1117

楽しく体験! 町民ふれあい講座

趣味を広げたい方のために講座を開きます。お気軽にご参加ください。

「体調改善&貯筋体操」講座

マスクを着用したままでもできる体操、ストレッチ、筋力トレーニングで冬の運動不足を解消し、免疫力を高め、健康な体づくりをしましょう。

- ◆日時 3月26日(金) 午後1時半～3時半
- ◆場所 カルチャープラザ「Eki」
- ◆受講料 200円
- ◆服装等 長いフェイスタオル、5本指靴下(無い方は裸足)
- ◆定員 10人
- ◆講師 フィットネスインストラクター 大場 杏さん
- ◆申込期限 3月19日(金)
- ◆【申込先・問い合わせ】 カルチャープラザ「Eki」 ☎3333
- ※参加の際は、マスクの着用をお願いいたします。

教育委員会公式YouTubeチャンネル開設しました!

町民への学習機会の提供やコロナ禍に対応したオンライン講座を実施するために、YouTubeチャンネル「公式」栗山町生涯学習情報マナビイチャンネル」を開設しました。町民講座の様子など、随時更新していきますので、ぜひご利用ください。

【配信動画】

町民講座 「食と運動で免疫力アップ! コロナに負けない体づくり」

①食で免疫力アップのポイント

②運動で免疫力アップ

※講座の様子は、広報15ページをご覧ください。



栗山町 マナビイ で検索



栗山学び隊 Vol.9 介護福祉学校と栗山高校の学生ライフをお届けします

その人らしさを支える介護



北海道介護福祉学校 2年 出村 香暖さん(大樹高等学校卒業)

2年間を振り返って、介護とはとてもやりがいのある仕事だと、あらためて感じています。

私は、これまで実習で多くの利用者との関わりから、その方が発した言葉にどのような思いが込められているか、その方の立場で考え、一人ひとりを尊重した丁寧な言葉掛けや対応を大切に介護を意識し、実践しました。結果、たくさんの方から笑顔で「ありがとう」と言っていたきました。

介護福祉士が生活支援の役割を担うということは、利用者一人ひとりが「その人らしく生活していくことを支える」ということ。これからは、心から穏やかな笑顔でその人らしく日々を送るためには、どのように関わるべきかを追求しながら、介護福祉士の仕事に向き合っていきます。

日々の練習で力をつける



栗山高等学校 2年 松田 朋子さん(栗山中学校卒業)

バドミントン同好会は、今年度の春に設立されました。現在、1年生10人、2年生1人、計11人で活動しています。

多くの選手が、この春にバドミントンを始めたばかりですが、日々の練習で着実に力をつけています。後輩の成長の姿を見ることが、活動の励みになっています。

バドミントンはコートが小さい分、羽が戻ってくるスピードが早いので、冷静にコースを見極めるのが大変です。練習がきついたり試合に負けて悔しいときもあるけれど、試合に勝ったときのうれしさは何ものにも代えがたいものがあり、やはり私はバドミントンが好きだと日々実感しています。

大会で学んだことを活かし、1日1日を大切に練習し、良い結果を出せるように努力しています。

図書館へ行こう!!



ブックマラソン開催中!

本1冊貸出につきスタンプを1個押せます。スタンプをためるとプレゼントがもらえます。※スタンプは1日最大3個までです。

【期間】3月21日(日)まで
【場所】町図書館、角田・継立図書室、移動図書館くりくり号

手作り絵本作家になろう! 作品展

12月に実施した「手作り絵本作家になろう!」事業の作品展をします。

【期間】3月9日(火)~23日(火)
【場所】町図書館絵本コーナー

ブックリサイクル市

図書館で不用になった小説や雑誌、絵本などを無料でお譲りします。持ち帰り用の袋や箱をご用意ください。

【期間】3月18日(木)~30日(火) 10:00~18:00
※木曜日は20:00までです。
【場所】町図書館視聴覚室
【冊数】1人20点まで。付録などは1人1点
一共 通一
※詳しくは、町広報3月号折り込みのヤム・ニウシをご覧ください。

栗山ふるさと文庫19号「走り続けた人生」発行

栗山にゆかりの深い方を対象に、編集委員が「栗山と町民の記憶と記録」を聞き起こしてまとめました。

【申込受付】3月4日(木)より
【受付場所】町図書館、角田・継立図書室、移動図書館くりくり号

※100冊限定(無料)で、ご希望の方に先着順でお渡しします。ご希望の方は、受付でお名前・ご住所をご記入ください。

【問い合わせ】町図書館 ☎72-6055

新しい力で栗山を元気に! 地域おこし協力隊です

オンラインセミナーを開催しました!

ものづくりD Y I 工房運営支援員の土山です。2月13日に「あったらいいなをカタチにする 栗山町にもできるフアブラボって何?」というオンラインセミナーを開催し、町内外から多数ご参加いただきました!

今回、僕たちが研修でお世話になったフアブラボ鎌倉の渡辺代表を講師にお招きし、フアブラボとは何か、そして世界1000カ所以上のフアブラボでどんな活動が行われているのか、ご紹介いただきました。

現在、試行運営を行っている「あさひ工房」で、初めてデジタル工作機械を使いものづくりをされた20代女性の町民参加者からは「フアブラボができて私たちの生活になじみ、町の人たちから必要としてもらえるようになったら、栗山町の観光や農業、教育と連携して、すごく素敵な施設になるのでは」という感想をいただきました。

また、セミナー後のアンケートでも多数のご感想をいただき、町で開設を進めているフアブラボ(ものづくり工房施設)に対する関心や期待を得られたと感じました。これからも町が持つ課題を町民と一緒に解決していける施設を目指して、活動を続けていきたいと思えます。

今回のオンラインセミナーの様子は、イベント専用ウェブページ内で公開していますので、下記QRコードからご覧ください。(またはフェイスブック「北海道栗山町地域おこし協力隊」で検索)

No.55

「あさひ工房」で、初めてデジタル工作機械を使いものづくりをされた20代女性の町民参加者からは「フアブラボができて私たちの生活になじみ、町の人たちから必要としてもらえるようになったら、栗山町の観光や農業、教育と連携して、すごく素敵な施設になるのでは」という感想をいただきました。

また、セミナー後のアンケートでも多数のご感想をいただき



令和2年度いきいきスクール活動報告

いきいきスクールは「豊かな知識と社会参加」「心の友と交流する喜び」「体と心の健康」を目的に、今年度は60歳以上158人の受講生が年間5回の活動をしました。



秋のバス研修 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設(10月7日)
炭鉄港ゆかりの立杭櫓等を見学しました。



学校祭(9月19日)
受講生皆さんのすてきな発表の場です。



お片付けジョーズセミナー(11月30日)
自宅の整理・収納についての学習を行いました。

今年度もたくさんの学び、すてきな出会いがありました。
新年度は、4月に募集を行います。一緒に「いきいき」しましょう!!